



大松しげかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

「園芸王国ちば」施策拡充を!

旭市特集 12月県議会一般質問



本会議場に登壇し、森田知事を前に一般質問を行う大松重和県議

「クリーンでさわやか政治」を掲げて県議会に飛躍した旭市選出の大松重和(おおまつ・しげかず)県議は、12月県議会的一般質問に登壇し、政権交代によって農業政策が不透明な中、地域産業の中核となる園芸や稲作など農業問題について、当面の県の方針をたてました。「園芸王国ちば」強化支援事業では、「実施希望が多く、要望に的確に答えられるよう内容の充実・強化を図っていく」との積極的な答弁を引き出しました。また、12月補正予算に関わる地域医療及び緊急雇用対策に伴う財政問題、地元の道路整備状況など、その他の大松県議の主な質疑を1、2面で特集します。

本事業は、実施希望が増加傾向にあるとともに、ハウスなど既存の園芸施設の修繕等に対する新たな要望もあることから、これに的確に答えられるよう、事業内容の充実・強化を検討してまいります。

大松議員 本事業は、22年度が事業最終年度と聞いています。

旭市選出の大松重和(おおまつ・しげかず)県議は、12月県議会的一般質問に登壇し、政権交代によって農業政策が不透明な中、地域産業の中核となる園芸や稲作など農業問題について、当面の県の方針をたてました。

森田知事 園芸生産は、農業産出額の約50%を占める本県農業の基幹部門であり、これまで「園芸王国ちば」強化支援事業を拡充し、積極的に支援してきたところであります。

大松議員 平成18年度から始まった「園芸王国ちば」強化支援事業は、大きな成果をもたらしています。そのおかげで、パイプハウスや低コスト耐候性ハウスなどの施設が着実に整備されてきています。新年度予算で、既存園芸施設の更新改善支援も含め、本事業の充実を図るべきと思うが、どうか。

大松議員 米粉・飼料用米等の新規需要米に対するこれまでの県の取り組みにより、「平成21年度産の水田フル活用に向けた当面の行動計画」の目標1000鈔に對し、どのくらいの拡大が図られたのか。

大松議員 米粉・飼料用米等の新規需要米に対するこれまでの県の取り組みにより、「平成21年度産の水田フル活用に向けた当面の行動計画」の目標1000鈔に對し、どのくらいの拡大が図られたのか。

新規需要米に県独自の支援

現行制度と同等の助成見込み

大松議員 平成18年度以降の園芸農業の振興策はどうなるのか。

農林水産部長 現在策定中の「千葉県総合計画」に基づき、野菜や花きの施設

化が進み、天候に左右されない高収益農業が展開され、若者にとって魅力のある力強い産業となるよう必要な施策を推進してまいります。

米粉・飼料用米を生産拡大

大松議員 米粉・飼料用米等の新規需要米に対するこれまでの県の取り組みにより、「平成21年度産の水田フル活用に向けた当面の行動計画」の目標1000鈔に對し、どのくらいの拡大が図られたのか。

農林水産部長 県は、本年4月、飼料会社等からの新規需要米の需要量に基づき目標を1000鈔と定め、生産者と飼料会社等とのマッチングを図りながら、作付け目標の達成に向け、水田の有効活用を推進してまいりました。

この取り組みの結果、平成21年度産の新規需要米の作付けは、351鈔確保でき、平成20年度産の187鈔に比べ、大幅に拡大が図られました。

大松議員 新政権の方針は明らかではないが、県としては来年度以降、どのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 新規需要

大松しげかず県議 PROFILE

略歴

- 昭和33年 旭市鎌数生まれ(9月23日)市立旭二中、県立銚子商業高校卒
- 昭和53年 養豚業/旭市農協青年部委員長/旭市立共和小PTA会長/県養豚協会理事/旭青年会議所会員
- 平成19年 千葉県議会初当選

現職

- 自民党県連 総務会委員
- 県議会 農林水産常任委員会副委員長
- 千葉県 卸売市場審議会委員
- 旭ロータリークラブ会員/海匠農業共済組合理事

自己紹介

- 生活信条 初志貫徹
- 趣味 ジョギング、読書(歴史)
- 家族 父母、妻と一男二女の7人家族

若者に魅力ある農業施策を推進します

県政や地元・旭市のことはお気軽にご相談ください。

大松しげかず

県議事務所

〒289-2505 旭市鎌数174-2

TEL0479(62)7571

FAX0479(63)9300

HPもご覧下さい。...

検索

ちば自民党

議員リスト

県議会議員

旭市

地域医療再生基金造成事業

事業規模縮小で懸念を表明

計画策定には地元の意見を



本会議場の自席から再質問する大松県議

でまいります。

大松議員

地域医療再生基金造成事業について、計画策定に当たり、地元をはじめ関係者の意見をどのように聞き、それにはどのように反映されたのか。

健康福祉部長

医療再生の重要課題である医療連携や医師確保、救急医療体制の整備等に対応するため、千葉県医師会や千葉大学をはじめ、さまざまな関係機関や団体等との協議を踏まえながら、検討を進めました。

大松議員「香取・海匠医療圏地域医療再生計画」について、事業規模の縮小に伴い、当初目指していた事業内容がどのように変わったのか。

健康福祉部長 同地域医療再生計画では、医療機関の役割分担・機能再編・ネットワーク化を主な目的として、その達成に必要となる各種の事業を予定しております。当初予定の事業規模100億円が25億円になったことにより、計画の目

的に沿いながら、当初想定していた事業をできる限り維持しつつ、金額や内容の絞り込みを行ったところであります。

また、香取海匠医療圏の計画にすべて盛り込む予定だった全県的な医師確保に係る事業等については、山

武長生夷隅医療圏の地域医療再生計画にも盛り込むなどの調整を行ったところであります。今後、計画の目的達成に向けて、基金を十分に活用し、事業実施に取り組ん

また、第三者機関からの意見聴取として、医療関係者や医療を受ける立場の住民代表などを構成員に含む千葉県医療審議会を開催したところであります。

第1回審議会で、香取海匠と山武長生夷隅の2地域

を対象地域の候補としてお示しいただき、第2回審議会ですべて具体的な事業を盛り込んだ計画案をご議論いただきました。

さらに10月2日に対象地域の市町村や自治体病院に向けた説明会を開催し、計画案の趣旨や内容を説明した上でご意見を伺ったり、個別に協議を行ったりしながら、

雇用対策予算の要件緩和を

大松議員 千葉県にあって、雇用失業情勢は極めて厳しく、雇用問題はまさに喫緊の課題です。市町村の緊急雇用対策関連のため、の補正予算は、枠を用意してありながら、使い切っていない状況にあります。これから年度末にかけての短い期間で、市町村がこれを活用するのは、なかなか難しいのではないかと。市町村の緊急雇用創出事業をさらに進めるため、県としてどう対応していくのか。

森田知事 雇用創出事業を進めていく上で、住民に最も身近で地域の実情に合った事業がより利

から、地元の意見をできる限り計画に反映させたいと考えています。

要望 地元の意見を聞いて反映させた、この答弁でしたが、どうも現場の感覚とは開きがあるような感じがしております。机上で、あるいは一部の関係者だけでどんな事を進めていくのではなく、地元の意見や要望に真摯に耳を傾けていただきたい。真に地域の人々のためになる事業を実施してもらいたいと思います。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

清滝バイパス完成を要望

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

大松議員 国は公共事業の抑制を打ち出し、国交省の概算要求も実質20%減となっており、大変気になります。県道銚子海上線の清滝バイパスの現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。



農林水産常任委員会県外視察(宮城県大崎市)

すいような工夫が必要ですが、ふるさと創生再生特別基金事業については、いろいろと制約があり、市町村としても使いつらいとの声もある。国に対してきちんと要件緩和を求め、実効性のあるものとなるよう要望します。

今年度は、東総広域農道側の本線切り直しと新七間川に架かるボックスカルバートを含む取り付け道路に着手したところであり、平成22年度からトンネル部東側の切土工事に着手する予定です。今後とも地元関係者のご理解とご協力を得ながら、事業の早期完成が図られるよう努めてまいります。

要望 県の財政が厳しい中、1日も早い完成を要望します。

旭市特集 12月県議会一般質問
さわやか政治で暮らしの夢づくり
大松しげかず 和議